

都城工業高等専門学校		開講年度	平成30年度 (2018年度)		授業科目	総合社会Ⅲ	
科目基礎情報							
科目番号		0039		科目区分	一般 / 必修		
授業形態		講義		単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科		電気情報工学科		対象学年	3		
開設期		通年		週時間数	2		
教科書/教材		地理A					
担当教員		藤永 伸					
到達目標							
国内外の自然的地理環境と人文的地理環境を把握し、現在の有様を理解すると共に将来の見透しを持つ。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1		自然地理を十分に理解できる		自然地理を良好に理解できる		自然地理を理解できる	
評価項目2		人文地理を十分に理解できる		人文地理を良好に理解できる		人文地理を理解できる	
評価項目3		将来の見通しをはっきり立てることが出来る。		将来の見通しを良好に立てることが出来る。		将来の見通しを立てることが出来る。	
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要		検定教科書などによって、地理の意義、地形図の内容、日本の地理および外国の地理を学ぶ。					
授業の進め方・方法		講義と作図等の作業を行う。					
注意点		日頃から地理的事象に関心を持つ。					
ポートフォリオ							
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	地理の意義 1		地理の意義を理解する		
		2週	地理の意義 2		同上		
		3週	地形図について 1		地形図について理解する		
		4週	地形図に付いて 2		同上		
		5週	地形図の読解 1		地形図の読解を理解する		
		6週	地形図の読解 2		同上		
		7週	まとめ				
		8週	テスト				
	2ndQ	9週	日本の地理の概要		日本の地理の概要を理解する		
		10週	九州地方の地理 1		九州地方の地理を理解する		
		11週	九州地方の地理 2		同上		
		12週	中国四国地方の地理 1		中国四国地方の地理を理解する		
		13週	中国四国地方の地理 2		同上		
		14週	近畿地方の地理 1		近畿地方の地理を理解する		
		15週	近畿地方の地理 2		同上		
		16週	テスト		同上		
後期	3rdQ	1週	中部地方の地理 1		中部地方の地理を理解する		
		2週	中部地方の地理 2		同上		
		3週	関東甲信越地方の地理 1		関東甲信越地方の地理を理解する		
		4週	関東甲信越地方の地理 2		同上		
		5週	北陸地方の地理 1		北陸地方の地理を理解する		
		6週	北陸地方の地理 2		同上		
		7週	北海道の地理		北海道の地理を理解する		
		8週	テスト		同上		
	4thQ	9週	世界の地理の概要		世界の地理の概要を理解する		
		10週	アジアの地理 1		アジアの地理を理解する		
		11週	アジアの地理 2		同上		
		12週	アジアの地理 3		同上		
		13週	アフリカの地理		アフリカの地理を理解する		
		14週	ヨーロッパの地理		ヨーロッパの地理を理解する		
		15週	アメリカ大陸の地理		アメリカ大陸の地理を理解する		
		16週	テスト				
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標		到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	社会	地理歴史的 分野	世界の資源、産業の分布や動向の概要を説明できる。		3	
				民族、宗教、生活文化の多様性を理解し、異なる文化・社会が共存することの重要性について考察できる。		3	
				近代化を遂げた欧米諸国が、19世紀に至るまでに、日本を含む世界を一体化していく過程について、その概要を説明できる。		3	

			現代社会の考察	現代社会の特質や課題に関する適切な主題を設定させ、資料を活用して探究し、その成果を論述したり討論したりするなどの活動を通して、世界の人々が協調し共存できる持続可能な社会の実現について人文・社会科学の観点から展望できる。			3	
評価割合								
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計	
総合評価割合	100	0	0	0	0	0	100	
基礎的能力	50	0	0	0	0	0	50	
専門的能力	30	0	0	0	0	0	30	
分野横断的能力	20	0	0	0	0	0	20	